

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成24年6月6日現在

機関番号：14401

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2009～2011

課題番号：21520819

研究課題名（和文）現代インドにおける家族・親族の再編成—移動社会をつなぐ親密ネットワーク

研究課題名（英文）Rethinking Family and Kinship in Contemporary India: Intimate Networks Linking Societies on the Move

研究代表者

常田 夕美子（TOKITA YUMIKO）

大阪大学・グローバルコラボレーションセンター・特任准教授

研究者番号：30452444

研究成果の概要（和文）：本研究の成果は、現代インドにおけるさまざまな人的ネットワークをたどることによって、ネットワークを構成する個々人が移動先の新たな空間における自らの経験を親密化し、多様な場所—農村、都市、海外—をリンクすることで、人・モノ・カネ・情報の新たな動きを可能にし、新しい家族・親族の形を形成して現状を明らかにしたことである。

研究成果の概要（英文）：The present research shows how new kinds of family and kinship networks are being formed in India today by focusing on the movements and exchanges of persons, things, money and information that link villages, cities and overseas.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	1,200,000	360,000	1,560,000
2010年度	1,100,000	330,000	1,430,000
2011年度	1,100,000	330,000	1,430,000
総計	3,400,000	1,020,000	4,420,000

研究分野：文化人類学

科研費の分科・細目：文化人類学

キーワード：インド、家族、ネットワーク、文化人類学

1. 研究開始当初の背景

従来のインドの家族・親族研究においては、インドにおける合同家族と核家族の対比が中心として議論されてきた。しかし、実際の家族のあり方は、合同家族であるか核家族であるかというような単純な二分法ではとらえきれない。特に近年においては、農村、都市、海外の間で人の行き来、モノ、カネ、情報のやり取りが活発になり、家族・親族の再編成が起こっている。

2. 研究の目的

本研究の目的は、現代インドにおける家族・親族の再編成の様相を明らかにし、それがいかに1991年の経済自由化以降の社会経済的動態を支える人的ネットワークの基盤

になっているか、またそのネットワークを構成する個々人がいかなる形で移動先の新たな空間における自らの経験を親密化（familiarize）し、多様な場所—農村、都市、海外—をリンクすることで、人・モノ・カネ・情報の新たな動きを可能にしているかについて検討することであった。

3. 研究の方法

本研究は、日本での文献研究および現地でのフィールドワークを通じて行った。現地調査では、インド・オリッサ州プバネーシュワル市、プリー市および近郊の村落在住の人々、そこからインド国内の大都市に移動した人々、さらに日本に移住した人々へのインタビューと参与観察を行った。帰国後は、そこ

で得られたデータを分析した。その作業と並行して、統計資料および文献資料の収集・読解・分析も行った。

4. 研究成果

2009年度は、現代インドにおける家族・親族の再編成の様相がいかにか 1991年の経済自由化以降の社会経済的動態を支える人的ネットワークの基盤になっているかについて分析するために、バンガロール市、プバネーシュワル市、プリー市およびそれらの都市近郊在住の人々を対象に聞き取り調査をおこなった。インタビューの質問は次のようなものであった。1) あなたの家族の成員は誰ですか？2) 現在あなたは誰と一緒に住んでいますか？3) 家族の成員が別の場所に住んでいる場合、どこに誰が住んでいますか？4) あなたは都市あるいは海外に行ったことがありますか？5) あなたの家族・親族のなかで都市あるいは海外に行っている人、行ったことがある人はいますか？6) 彼らは何をしていますか？7) 都市や海外に住んでいる家族・親族と連絡を取っていますか？8) 連絡を取る方法は？9) 土産や送金のやりとりはありますか？こうした会話の流れのなかで、1) 未婚/既婚；2) 年齢；3) 所属カースト；4) 職業；5) 年収；6) 宗教などの個人データについても獲得した。カルカッタ市では、資料収集をおこなった。帰国してからは、フィールドワークで収集したデータの整理・分析に着手した。また並行して、当課題に関する学術書やパンフレット類の文献資料を収集した。さらに、来年度の調査のために、調査地の親しい人たちとも日本滞在中から電子メールなどで連絡をとりあって、調査研究のための前準備（インタビューに応じてくれる人からの承諾やスケジュール調整）を進めておいてもらった。

2010年度は、インドでの調査と同時に日本在住のインド人の調査をおこなった。4月～7月までは、前年度のフィールドワークで収集したデータを整理・分析し、さらに文献の収集と読解をおこなった。

前年度および本年度の調査研究であきらかになったのは、在日インド人のニューカマー移民の重要性である。したがって、8月～9月、3月のインド調査では、前年度に調査したプバネーシュワル市、プリー市、ゴロマントリ村の人々とのインタビューから収集した情報にもとづいて、現在日本で活動をするオリッサ人についての情報収集をおこなった。

10月～2月は、引き続きデータ整理および文献調査をおこなうと同時に、在日オリッサ人のネットワークについて調べるために、在日オリッサ協会Odisha Community in Japan (OCJ)の活動に参加し、聞き取り調査および調

査にとって重要であるネットワーキングをおこなった。

そこでのフィールドワークでは、在日オリッサ州の人々がオリッサ州に住む家族とどのようなやりとりをしているかについて、また、移住先の新たな場所を親密化していった過程について調査した。移住の目的、移住先での生活（衣食住）、故郷の家族・親族とのモノ・カネ・情報のやりとりについて調べると同時に、移住先での住み心地や好きな（また嫌いな）場所や食べ物や人々などについて尋ねたりしながら、家族が移住先でどのようにその場所になじんでいったか（あるいはなじまなかったか）について民族誌的に描くためのデータを集めた。本年度は、研究のまとめの年として、国内外の学会および研究会で研究成果の発表および論文執筆をおこなった。

2011年度は、8月と2012年1月～2月に前年度から引き続きフィールドワークを実施し、最終的なデータ採集をおこなった。

全体の調査研究であきらかになったのは、在日オリッサ人のニューカマー移民のネットワークの構築の過程である。プバネーシュワル市、プリー市、ゴロマントリ村の人々とのインタビューから収集した情報にもとづいて、現在日本で活動をするオリッサ人についての情報収集も電子メールや電話でのインタビューを通じておこなった。在日オリッサ人のネットワークについて調べるために、在日オリッサ協会Odisha Community in Japan (OCJ)の活動に参加した。

在日オリッサの人々がオリッサ州に住む家族とどのようなやりとりをしているか、移住先の新たな場所をいかに親密化しているか、新たな移住先をどのようにして見つけるかについて調査した。移住の目的、移住先での生活（衣食住）、故郷の家族・親族とのモノ・カネ・情報のやりとりについて調べた。

9月～1月および3月はデータの整理と分析、参考文献の読解と分析枠組みの緻密化を継続した。

最終年度には、2010年度に出版した単著『ポストコロニアルを生きる—現代インド女性の行為主体性』の英語版の作成に着手した。それをRoutledge South Asia Seriesから出版するために、現在出版社と交渉中である。なお、長期的に計画している「グローバル社会における親密ネットワークの人類学」プロジェクトの構想も国内外の学会で発表した。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕(計4件)

- ①常田夕美子・田辺明生 2012「関係性の政治—開発と生存をめぐるグローバルネットワーク」速水洋子・西真如・木村周平編『第3巻：人間圏の再構築——熱帯社会の潜在力』京都大学出版会, pp. 333-371.
- ②常田夕美子 2011「第12章：身体の宙ぶらりん—インド、オディシャのブランコ遊びと現実批判」春日直樹編『現実批判の人類学—新世代のエスノグラフィへ』世界思想社, pp. 270-289.
- ③常田夕美子 2010「ヒトと身体」田中雅一・田辺明生(編)『南アジア社会を学ぶ人のために』世界思想社, pp. 22-33.
- ④常田夕美子 2010「女性問題・ジェンダー」田中雅一・田辺明生(編)『南アジア社会を学ぶ人のために』世界思想社, pp. 197-207.

〔学会発表〕(計11件)

- ①Tokita-Tanabe, Y. "Social Relatedness and Sustainability: Women's Agency in Sustainable Living." The Asian Conference on Sustainability, Energy and the Environment (ACSEE) (2011年6月5日, 大阪 Ramada Hotel)
- ②Tokita-Tanabe, Y. "Creation of Glocal Multicultural Communities in Japan: Expanding Relatedness Among Indian Diaspora in Japan, People of their Home Places, and their Japanese Hosts." Anthropology of Japan in Japan (AJJ) 2011 Annual Spring Workshop, (2011年4月23日, 金沢大学)
- ③Tokita-Tanabe, Y. "Expanding Relatedness: Experiences and Imaginations of Indian Diaspora and People of their Home Places." 国際会議 American Anthropological Association 109th Annual Meeting (AAA), (2010年11月17日, ニューオーリンズ, 米国)
- ④常田夕美子「移動社会と親密ネットワーク：現代インドのディアスポラの事例から」GLOCOLディアスポラ研究会, (2010年12月11日国立民族学博物館)
- ⑤Tokita-Tanabe, Y. "Gender and the Woman Question in Postcolonial India." (2010年11月23日 Departamento de Antropologia, Universidad de Chile, Santiago, Chile)
- ⑥Tokita-Tanabe, Y. "Expanding Relatedness: Experiences and Imaginations of Indian Diaspora and People of their Home

Places." American Anthropological Association 109th Annual Meeting, (2010年11月17日 New Orleans, Louisiana, U.S.A.)

- ⑦Tokita-Tanabe, Y. "Gender and Conflict: Connecting Cosmopolitan and Local Orientations in Postcolonial India." 2010 Osaka University Forum "Globalization and Conflict: Entanglement between Local and Cosmopolitan Orientations." (2010年9月29日 University of Groningen, The Netherlands)

⑧常田夕美子「ポストコロニアル・インドにおける女性の行為主体性：地方都市の中間層女性の事例から」、「<ポスト比較>の植民地主義研究：国際研究の基盤構築に向けて」第17期研究会・第9研究班 第5回研究会 (2010年7月31日同志社大学人文科学研究所)

⑨Tokita-Tanabe, Y. "Eros and Play: Women's Aspiration for Liberation in Orissa, India." The Human Condition Series - Eros 2010, 3rd biennial international, multidisciplinary conference, (2010年5月21日, カナダ)

⑩Tokita-Tanabe, Y. "Negotiating New Cultural Spaces: Defining and Enacting Civility among Urban Middle-class Women in Orissa, India", 第38回アメリカ南アジア学会 (2009年10月23日, ウィスコンシン)

⑪Tokita-Tanabe, Y. "Development as Hope: Towards Ecology of Life", 国際会議 Reframing Development: Post-development, Globalization, and the Human Condition (2009年4月8日~10日, 大阪大学)

〔図書〕(計1件)

常田夕美子『ポストコロニアルを生きる—現代インド女性の行為主体性』世界思想社, 272頁, 2011年.

〔産業財産権〕

○出願状況 (計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況 (計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

[http://www.glocol.osaka-u.ac.jp/staff/to
kita/index.html](http://www.glocol.osaka-u.ac.jp/staff/to
kita/index.html)

<http://www.indas.asafas.kyoto-u.ac.jp/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

常田 夕美子 (TOKITA YUMIKO)

大阪大学 グローバルコラボレーションセ
ンター・特任准教授

研究者番号：30452444

(2) 研究分担者

研究者番号：

(3) 連携研究者

研究者番号：